

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



三重県電気工事業工業組合 青年部会

青年部会長 山森 悟氏

当組合青年部会は、昭和56年12月4日に設立され、会員数は98名です。平成27年4月に当組合青年部会会長に就任した山森悟さんは、山森電機設備株式会社の3代目として活躍しています。

山森会長に“電気工事”について何うと、「電気は人間で言う血液にあたると思っています。建物を建てるだけでは機能しませんが、倉庫でも照明が必要なように、電気はなくてはならない必要なものです。」と答えてくれました。

どのような建築物でも、受変電、照明、コンセント、自動火災報知機、電話、放送、インターホン、監視カメラ、テレビ共聴設備等が設置されます。このようななくてはならない設備を工事することが電気工事としての業務です。



当青年部会の発表の様

当組合青年部会の活動は、主に勉強会、家族親睦会、忘年会、全国大会への参加、中部5県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の一部、長野県）の交流会等です。

平成24年、中部5県の交流会を当青年部会が主催した際には、電気工事業界の魅力について考えてみよう、各県による電気工事業についての発表と、開催地の地元四日市工業高校の生徒とのテーブルディスカッションを企画しました。



高校生とのディスカッション

当青年部会からは、建物の新築工事現場の電気工事の流れについて、写真を見せながら劇で説明しました。

ディスカッションでは、生徒からの質問に実際の現場で働く青年部会員が作業服を着て、やりがいや心労などを話し、電気工事業界の魅力を理解してもらえたと感じています。中部5県以外から視察に来ていた青年部会長や支部長等にも好評で、全日本電気工事業工業組合連合会からは、優良事業として金賞を受賞しました。



上野支部の活動の様

山森会長は、支部での活動が自主的に行われるよう促すのが会長の役目であると話します。それまで不定期に行っていた会議を毎月開催し、各支部での活動報告も行います。お互いに仕事のやり取りができるシステムを構築しようと名簿を作成した支部や、イベントの開催や出席状況が把握できるようにとコミュニケーションツールを検証した支部もあり、7支部での仕事の調整のほか、検証したコミュニケーションツールを活用した情報共有も行っています。山森会長が属する上野支部では電気工事の技術を活かし、昔のテレビ番組のゲームを模して「電気イライラルート」を作り、地元のお祭りに出店したところ、子供達がとても楽しんで挑戦していました。

青年部会長の任期は2年。山森会長の任期は、あと数か月。山森会長は「やるなら一生懸命取り組みたい。これまでの他の団体等での経験も活かして、2年に凝縮してめいっぱいやる。団体の長は良い経験になる。皆にも味わってもらいたい。」と熱く語ります。